

茶の湯とビジネスを掛け合わせた講演会 「茶の湯から学ぶ経営」を開催します －茶の湯×ビジネス－

堺市では、茶の湯が息づく堺の実現に向けて、茶の湯が持つ本質的な価値を、現代の経営や組織形成の視点から考察する講演会「茶の湯から学ぶ経営」を開催します。

同講演会では、講師として裏千家学園副校長 伊住 宗禮氏いずみ ともれいをお招きするほか、呈茶やパネルディスカッション等も併せて実施します。

1 概要

現代の経営環境は、技術革新や AI の進展、価値観の多様化が進む中で、経営者やリーダーには、これまで以上に「判断力」「人間力」「調和力」が求められています。そのような時代にあって「茶の湯」には「もてなし」を通して人の心を整え、関係を調和させる知恵が息づいています。本講演会では伊住 宗禮氏をお招きし、茶の湯の美学・所作等の中から現代の経営や組織形成にどのように活かすかを学んでいただきます。

日時	令和8年3月18日（水）午後1時30分～午後5時20分
場所	（株）さかい新事業創造センター1階「Community room cha-shitsu」 （堺市北区長曾根町130-42）
内容	講演会、呈茶、パネルディスカッション、交流会等
対象	・これから起業を予定、または既に起業されている方 ・堺市内の中小企業の経営者及び個人事業主の方
定員	30名（先着順）
参加費	1,000円（お茶、和菓子付き）
主催	堺市、（株）さかい新事業創造センター
申込方法	令和8年2月27日（金）午後2時から、以下のホームページで受付を開始します。 https://peatix.com/event/4854109

2 本市と茶の湯の関わり

本市では、広く茶の湯を楽しむ文化が連綿と受け継がれており、茶の湯は今でも多くの市民の皆様に愛されています。

茶の湯の文化を振興することによる、市民の豊かな心の醸成と都市魅力の向上を目的として、「堺茶の湯まちづくり条例」を平成 30 年 10 月に施行しました。また、令和 7 年 2 月には「堺」と「茶の湯」のつながりを PR するため、「茶の湯が息づく堺」ロゴマークを作成し、茶の湯文化の一層の発信を行い、茶の湯で大切にされている互いを敬い思いやりの心があふれる街をめざしています。



茶の湯が息づく堺

「茶の湯が息づく堺」ロゴマーク

問 い 合 わ せ 先	(本市の茶の湯事業に関すること) 担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174
	(起業家の育成及びさかい新事業創造センターに関すること) 担 当：(株) さかい新事業創造センター 電 話：072-240-3775 ファックス：072-240-3662

茶の湯から 学ぶ経営

もてなしが人と組織を動かす

現代の経営環境は、急激な変化と不確実性に満ち溢れています。技術革新やAIの進展、価値観の多様化が進むなかで、経営者やリーダーには、これまで以上に「判断力」「人間力」「調和力」が求められています。この時代にあつて、「茶の湯」には、「もてなし」を通して人の心を整え、関係を調和させる智慧が息づいています。「一碗のお茶を介して、相手を敬い、自らを律し、空間と時間を整える」そこに、経営者としての本質的なあり方が示されています。本講演会では、裏千家学園 副校長 伊住宗禮氏をお招きし、茶の湯の美学・所作・空間づくりの中から現代の経営や組織づくりにどう活かすかを学びます。

茶の湯の文化が息づく堺にて茶の湯が持つ本質的な価値を、現代の経営や組織づくりと結びつけて深く考える講演会を開催します。

令和8年3月18日(水)

13時30分・17時20分

参加費用 壹千円 (お茶、和菓子付)

場所

株式会社さかい新事業創造センター
1階【cha-shitsu】

伊住宗禮氏

講師

裏千家学園 副校長 一般財団法人今日庵 茶道総合資料館副館長
日本文化研究者 NPO法人和の学校理事長



Instagram



裏千家 十六代家元坐忘齋の実弟・伊住宗梟の二男。茶名宗禮。裏千家茶道(ちゃどう)を修めると共に、茶道史や工芸史の研究者としても活動している。同志社大学商学部商学科卒業後、京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術専攻修了。博士(学術)。堺市博物館学芸員(非常勤)勤務を経て、現在は茶道資料館副館長、裏千家学園副校長。裏千家茶道を中心とした様々な領域で活動を展開している。

茶の湯から

学ぶ経営

もてなしが人と組織を動かす

スケジュール

堺市代表挨拶

13時30分・13時40分

講演

13時40分・14時40分

質疑応答

14時40分・14時50分

休憩

14時50分・15時

呈茶

15時・15時20分

パネルディスカッション

15時20分・16時20分

交流会

16時20分・17時20分

参加費用

壺千円（お茶、和菓子付）



茶の湯が息づく堺



堺茶の湯まちづくり
事業について

パネルディスカッション登壇者紹介

Palette Japan 太田 智子氏



2020年8月にS-Cube入居。事業を進展させ、2025年6月の卒業後は堺市北区で事業を継続。日本の伝統工芸「まみ細工」を軸にシンガポールを中心とした企業向けワークショップや教育プログラムを展開。貿易実務25年の経験に基づき日本文化を国際市場に定着させるため実践を重ねている。近年は堺注染の規格外端材をアップサイクルしたつまみ細工キット「花いろは」×堺注染を開発、シンガポールで高評価を得る。2026年1月、同地で展示会「PaletteJapan Festival in Singapore」を主催し、日本の作り手と海外をつなぐ橋渡しにも注力している。

株式会社 THREE OAK 代表取締役 依田 真幸氏



堺を拠点に活動するプロデューサー/株式会社「エロム」代表。2025年6月にS-Cube創業準備デスクにて起業。事業拡大により2026年1月にS-Cubeオフィスに移動し拠点を構える。ブランディングとデザイン思考を軸に、中小企業や地域の価値を掘り起こし、人・組織・まちをつなぐプロジェクトを手がけている。裏千家茶道の稽古を続けながら、堺の茶の湯の精神や美意識を、現代の仕事やまちづくりに活かすことを探究中。場を整え、対話を育み、関係性を深める「茶の湯の智慧」を、ビジネスと地域実践の両面から探求している。



株式会社 つぼ市製茶本舗 代表取締役副社長 谷本 康一郎氏



株式会社 つぼ市製茶本舗、六代目。茶審査技術七段。日本茶インストラクター。「いっばいのお茶を通して世の中の安らぎと和に貢献する」という社是のもと、「おいしいお茶のある暮らし」の普及に注力している。さかいお茶キッズマイスターの取り組みや子ども食堂でのお茶の淹れ方教室など、地元・堺の子どもたちへのお茶の普及にも努めている。つぼ市製茶本舗とは、千利休のふる里、大阪・堺にて嘉永三年（1850年）創業。全国から良質な原料のみを厳選し、堺流の製茶技術で美味しく仕上げ、高品質で安心安全なお茶づくりを通して、「おいしいお茶のある暮らし」を提案している。

和敬清寂



Palette Japan



THREE OAK



つぼ市製茶本舗



お申し込み方法はコチラ

お申込みは **Peatix** にて受付
左のQRからアクセス

定員 **30名**

Peatix
ピーティックス

【イベント対象の方】

- これから起業を予定、すでに起業されている方
- 堺市内の中小企業の経営者および個人事業主の方
- 日本文化を広めることに興味、関心がある方



Community room

cha-shitsu

交流スペース cha-shitsu は、起業家、事業者、また学生から子育て世代の方など、広く平等に受け入れ、様々な交流会・共創を生み出す『ビジネス版茶室』と呼べるような空間。S-Cube1階にあり交流イベント、作業場所、商談利用と幅広くご利用いただけます。（※利用料無料、FreeWiFi・コンセント利用可）



Instagram



website



堺市 文化観光局 文化国際部 文化課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市高層館6階

TEL | 072-228-7143 FAX | 072-228-8174 E-MAIL | bunka@city.sakai.lg.jp



さかい新事業創造センター
SAKAI BUSINESS INCUBATION CENTER

〒591-8025 堺市北区長曾根町130-42

TEL | 072 240 3775 FAX | 072 240 3662

E-MAIL | info@s-cube.biz



S-Cube QR